

首都圏大曲会『ふるさと大曲』/ 平成 27 年臨時増刊号

平成 27 年 首都圏大曲会総会

日時：平成 27 年 8 月 1 日(土) 午前 11 時 30 分～午後 2 時 30 分

会場：東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテル「光の間」

総合司会 大友 律子 (首都圏大曲会副会長)

受付開始 11:00

11:00 DVD 投映「第 88 回 大曲の花火」

11:30 開会

11:32 会長挨拶

首都圏大曲会会長 大釜 茂璋

平成 26 年度事業報告・会計報告 大釜茂璋

〃 監査報告 監査 佐藤 健

平成 27 年度事業計画・予算案 大釜茂璋

12:00 来賓祝辞・紹介

大仙市市長

栗林 次美様

大仙市議会議員 (代理)

児玉 裕一様

12:15 「ふるさと納税」ご案内 大仙市まちづくり課主幹 田口美和子

12:20 乾杯 大曲商工会議所副会頭 賢木 新悦様

12:25 来賓ご紹介 (順不同) 大仙市市議会議員・大仙市市役所・大曲商工会議所・JA 秋田おばこ
大曲営農センター・首都圏大曲会を支援してくださる方々・各ふるさと会代表のみなさん、他

— ご 歓 談 —

12:45 アトラクション 第 1 部 (フラダンス・期待の浪曲ショー)

① フラダンス 高田洋子 ② 浪曲で語るふるさとのメロディー 富士琴美 (三味線 松田浩志)

13:00 アトラクション 第 2 部 (大曲出身の若手アーティストたち)

① 「ねえ」がヒット中! 結香 ② 津軽三味線 民謡界の麒麟児 畠山光洋

13:25 アトラクション 第 3 部 お楽しみ福引き大抽選会

司会進行 築地 良仁 (首都圏大曲会副会長)

14:25 閉会挨拶

首都圏大曲会副会長 鈴木 繁

修了予定 14:30 *進行上の都合で予定を前後したり時間通り進まないことがあります。その節はご容赦願います。

首都圏大曲会 162-0054 東京都新宿区河田町 6-6 教育情報プロジェクト気付 Tel:03-3341-6339

平成 26 年度・会計報告（平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日）案

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	120,705	総会費	1,198,084
年会費収入	192,000	会議費	0
総会費収入	1,135,000	通信費	126,374
花火を観る会収入	217,000	花火を観る会	263,180
雑収入（広告料等）	200,000	諸印刷費	289,624
大仙市助成金	150,000	会合出席費	50,260
		広報費	16,848
		消耗品費	15,833
		雑費用	11,266
		次年度繰越金	43,236
	2,014,705		2,014,705

平成 26 年度 監査報告

平成 26 年度分につき会計監査の結果、その計算は正確であり、繰越金に相当する現金、預金が正しく保管されていることを認めます。

平成 27 年 6 月 21 日

監事 佐藤 健



平成 27 年度予算案

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	43,236	総会費	1,200,000
年会費収入	200,000	会議費	50,000
総会費収入	1,200,000	通信費	130,000
花火を観る会収入	280,000	花火を観る会	280,000
雑収入	200,000	諸印刷費	240,000
大仙市助成金	150,000	会合出席費	50,000
		広報費	17,000
		消耗品費	30,000
		雑費用	10,000
		次年度繰越金	66,236
	2,073,236		2,073,236

首都圏大曲会 平成 26 年度活動報告

<主たる活動とその概要>

1. 首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』年 2 回発行+臨増号

首都圏大曲会の会報『ふるさと大曲』は会員同士の横の連携を保つとともに、ふるさと大曲地区在住の人々並びに首都圏大曲会との交流を希望する方々とのジョイント役として、その効力を如何なく発揮しています。

そのためには首都圏大曲会の活動を紹介することをはじめ、地元大曲の動向、イベントの紹介や大仙市広報「だいせん日和」からの情報を紹介して地元の動きに常に関心を示すことが出来るよう記事構成に配慮しています。そこには大仙市役所や、地元の各集団との繋がりを強く維持していこうとする首都圏大曲会の、ふるさとの大曲に対する強い想いが含まれています。地元の動きに強い関心を示す会員は多く、第 17 号で扱った大曲駅周辺北街区の写真は「だいせん日和」から転載したのですが、初めて見る人も多く大変喜ばれました。また連載の「大仙市で活躍する企業紹介」は、ふるさと会会報としてはきわめてユニークな記事ということもあって、「大曲でこんな新しいものが、この地区で製造されているなんて知らなかった」などと、むしろ地元の人々からの驚きの声が聴かれたりもしました。

また地元出身の芸能人の紹介にも関心が寄せられて、「大曲出身とは知らなかった。応援しています」という声もありました。これからも身近な話題や関心から目を放すことなく、会員の情報の一つとして提供できるような編集構成に心がけてまいります。

2. 平成 26 年度総会・お楽しみパーティー開催

平成 26 年度「首都圏大曲会総会兼お楽しみパーティー」は、7 月 19 日(土) 午前 11 時 30 分から、恒例の東京・内幸町、帝国ホテル「光の間」で、約 150 名の参加を得て開催しました。会員をはじめ大仙市ふるさと会代表のみなさん、地元大仙市からは栗林市長を初め幹部の方々、秋田県東京事務所、大仙市議会橋本議長、大曲商工会議所賢木副会頭、J A 秋田おばこ大曲営農センター、他に首都圏大曲会の活動に協賛し協力をしてくださる地元の方々、のご出席を頂き盛大に開催しました。

「地元の発展とともに私たちも成長しよう」とする会長挨拶に引き続き前年度の活動報告と会計報告を満場一致で承認、26 年度活動計画、予算案も提案通り承認されました。

★

郷土の新聞 秋田魁新報社

〒010-8601 秋田市山王臨海町1-1

電話0187-86-0850(代)

帝国ホテル

〒100-8558 東京都千代田区内幸町1-1-1

電話03-3504-1111(代)

★懇親のお楽しみパーティーは地元大曲出身の民謡歌手千葉とし子さんが、子息の畠山光洋さんの伴奏で「生保内節」など、懐かしい民謡を披露。お馴染みの高田洋子さんの若々しいフラダンスと続きました。内小友出身、大曲高校・千葉大学卒業のYUKA（結香）さんが、何とも魅力的な声でポップスを歌い上げると締めは津軽三味線の畠山光洋さん。アンコールの声が飛ぶほどの盛り上がりでした。なお大曲商工会議所を通して秋田清酒株式会社から「刈穂」などの清酒、「秀よし」の鈴木酒造店からも日本酒の寄贈頂きました。

総会名物の「お楽しみ抽選会」は地元の商店、企業からのご協力を得て、今回も多く景品を寄贈頂きました。また参加者全員に亘る参加記念品は、大仙市高関の佐藤久男さんが今年もご自分の田圃で収穫された「こだわりのアキタコマチ」を、気前よく寄贈頂きました。衷心より御礼を申し上げます。

3. 第6回東京で“大曲の花火”を観る会

第6回を迎え2月21日（土）午後1時から、アルカディア市ヶ谷で開催。昨年の豪雪とは違って穏やかな天気。元気な中良野会のみなさんを初め約50名の参加を得て大いに盛り上がりを見せました。今年は趣向も新たに大曲商工会議所副会頭（大曲花火倶楽部顧問）賢木新悦さんの講演「“大曲の花火”について話そう」や、中良野会高階光義さんの望郷DVD「なつかしの大曲慕情」の映像などがあり、バラエティーに富んだ観る会になりました。大仙市からは高橋正人参事（現まちづくり課課長）、佐藤淳哉主事が出席。カラオケ大会も同時に組み込むこの会も、回を重ねて徐々に盛り上がりを見せる首都圏大曲会のカラーを濃くするイベントになりつつあります。なおこの会でも佐藤久男さんから参加記念に「こだわりのアキタコマチ」の寄贈を戴きました。

4. 大仙市誕生 10周年式典に列席など

この他に6月28日の「大仙市首都圏ふるさと会」の幹事を務め、11月に東京・有楽町で開催された「大仙市ふるさとフェア」に参加、「四ツ屋まつり」に参加して、余目いきいき会協議会の加藤顧問や土屋館衆の辻代表などと意見を交換。3月22日の「大仙市誕生10周年式典」に参列。首都圏大曲会ホームページの充実、各ふるさと会総会へも参加しました。

和装はきもの・小物 加藤

〒014-0024 大仙市大曲中通町9-20 電話0187-62-4391

有限会社 平山書店

〒014-0024 大仙市大曲中通町7-20 電話0187-63-7630

画廊喫茶 Blanca

〒014-0024 大仙市大曲中通町3-16 電話0187-62-0658

ナガハマコーヒー株式会社

〒014-0061 大仙市大曲栄町13-68 電話0187-63-0207

株式会社 タカヤナギ

〒014-0066 大仙市川の目字町東33 電話0187-62-1234

カネトク卸総合センター株式会社

〒014-0051 大仙市大曲浜町1-22 電話0187-62-1760

秋田民報社

〒014-0061 大仙市大曲栄町10-23 電話0187-63-2122

佐藤 久男

〒014-0103 大仙市高関上郷字高屋敷42 電話0187-66-1702

大仙・おぼこ「大曲花火米」研究

〒014-0017 大仙市大曲栄町10-23 電話0187-63-2122

株式会社ピース スパ西遊喜

〒014-0063 大仙市大曲日ノ出2-5-10-23 電話0187-63-2122

大仙市

〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号 電話0187-63-1111

乳頭温泉郷 黒湯温泉

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字黒湯沢2-1 電話0187-63-1111

(名) 鈴木酒造店 秀よし

〒014-0207 大仙市長野二日町9 電話0187-56-2121

乳頭温泉郷 妙乃湯、夏瀬温泉 都わすれ

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳2-1 電話0187-46-2740

〒014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84 電話0187-44-2220

祝 平成 27 年度／首都圏大曲会総会

ご協賛景品提供企業・団体一覧 (順不同)

ご協力・ご支援有難うございます。心から感謝申し上げます。

大曲商工会議所

〒014-0016 大仙市若竹町33-7 電話0187-62-1262

株式会社 グランドパレス川端

〒014-0051 大仙市大曲浜町7-39 電話0187-62-0354

大曲エンパイアホテル

〒014-0015 大仙市大曲白金町8-17 電話0187-63-1131

株式会社 ビジネス秋田

〒014-0027 大仙市大曲通町3-11 電話0187-63-お765

菓子司 つじや

〒014-0024 大仙市大曲中通町1-20 電話0187-62-0494

特選呉服やまもと

〒014-0048 大仙市大曲上大町9-16 電話0187-62-0386

秋田清酒株式会社

〒014-00801 大仙市戸地谷字天ヶ沢83-1 電話0187-63-1224

株式会社嶋田ハム

〒014-0016大仙市若竹町26-23 電話0187-63-1576

大仙市観光物産協会

〒014-0027 大仙市大曲通町3-3 電話0187-88-8481

NPO 法人 大曲花火倶楽部

〒014-0047大仙市大曲須和町1丁目1-57 電話0187-62-6887

株式会社 TMO 大曲

〒014-0016 大仙市若竹町33-7 電話0187-62-1262

< 平成 27 年度 >

首都圏大曲会 年間活動について (案)

【活動方針と趣旨】

大仙市は平成 17 (2005) 年 3 月、隣接する 8 市町村が合併して誕生しました。今年ちょうど 10 歳になりました。私たちの首都圏大曲会は、大曲市時代からの歴史を紐解きますと今年誕生 27 年目、まさに人間で言えば今が血気盛ん、社会の中核へと名乗り出た逞しい青年の勢いを感じます。

情報手段の発達は一層度を加えて、地球はおろか宇宙までを巻き込んで回転しています。交通手段の発達も留まることを知りません。このような時代変化の中で、何時までも同じ境遇や環境に浸っている時ではないのです。懐かしさだけがふるさとと、感慨に浸る時代は過去のものとなりました。私たちは故郷を捨てて東京や首都圏に出て来たものではありません。どこに住もうが、どこで働こうが、常にふるさとと共に生きる時代なのです。

私たちは新しい今の時代に生きるために、情報、知識、それに伴う価値観をしっかり捉え、ふるさと大曲とともに生き、ともに発展していくべきではないでしょうか。そのためにも私たち一人ひとりは、未来志向のこれからの時代に相応しいふるさと会活動を共に協力し合い、意欲的かつ楽しく展開していこうではありませんか。大仙市とともに泣き、笑って、それがふるさと会活動です。

【活動の趣旨と目的】

1. 首都圏大曲会の活動趣旨を理解し、首都圏に在住する旧大曲市出身者を中心に、また居住地に関わりなく、首都圏大曲会の設立趣旨に賛同する者、またこれらと関わりを持つことを希望する者で構成する。その上に立って会員増強に努力する
2. 大仙市ならびに各団体、関連企業、また一般市民との連携を保ちつつ、相互の情報を密にするとともに、地域の発展に協力する
3. 首都圏大曲会の会員の創意を尊重しつつ、大仙市各ふるさと会との連携を進め、相互協力体制の強化を図るとともに親睦に努める
4. 以上の趣旨に基づく目的達成のために、次の事業を行う

【主たる活動】

- ① 首都圏大曲会の「平成 28 年度総会兼懇親パーティー」を、平成 28 年 8 月 6 日（土）午前 11 時 30 分より、帝国ホテルで開催する。
- ② 東京ならびに首都圏で開催する大仙市とその関連団体が主催する「大仙市物産フェア」等において、協力要請がある場合は可能な限り協力する。
- ③ 「第 7 回 東京で“大曲の花火”を観る会とみんなでカラオケを楽しむ会」を平成 28 年 2 月に開催する。各ふるさと会や身近の一般の方々人にも声をかけ、翌年夏に開催される本番の大曲の花火見物に参加するよう働きかける。
- ④ 会報『ふるさと大曲』を 2 回発行する。他に、必要に応じて臨時増刊号を随時発行する。会員の情報や地元大曲地区の情報や話題等、また変わり行くふるさとの大曲の様子等を積極的に取り上げ、親しみがわき、より身近に感じる会報発行に努める。
- ⑤ ホームページの効果的運用に努める。情報公開とともに若手獲得を目指す。
- ⑥ 大仙市市役所とも強い連携を図りながら、各ふるさと会や地元組織との交流を深め、新規活動を模索し、若手への入会要請などを通して、今後の活動方策を常に探求する。地元グループとの交流も深めていく。
- ⑦ 地元大仙市の各企業や店舗、団体等と協力し、会報発送などを活用して、当該企業やお店の宣伝活動にプラスする方策で支援する。
- ⑧ 幹事会、三役会を随時開催し、情報収集に努め活動の充実を図る。

首都圏大曲会 役員

★平成二十七年～二十八年

監 査	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事	幹 事	事務局次長	事務局長	副会長	副会長	副会長	会 長
佐 藤 健	富 樫 孝 治	高 橋 映 里 子	佐 藤 重 光	佐 藤 健	大 友 昭 三	栗 津 正 博	古 宮 理 絵	齊 藤 貞 助	築 地 良 仁	鈴 木 繁	大 友 律 子	大 釜 茂 璋

（幹事兼任）